

2015年10月19日

■ いつでもどこでも“音のユニバーサルデザイン”に対応した社会の実現にむけて

様々な業界の音声アナウンス関連メーカー各社と 「おもてなしガイド」の実証実験に取り組みます

- 経済産業省の“Innovative Technologies 2015”にも採択。10/22～25、DCEXPOに出展 -

ヤマハ株式会社は、アイテック 阪急阪神株式会社、クラリオン株式会社、中川電気工業株式会社、八幡電気産業株式会社、レシップ株式会社、株式会社 USEN*と、音のユニバーサルデザイン化支援システム「おもてなしガイド」の実用化およびその改良に向けて、実証実験を行うことに合意しました。

※ USEN に関しては、先行して 2015 年 10 月 15 日に共同検討に関する発表を別途行っています。

(http://jp.yamaha.com/news_release/2015/15101502.html)

これまでの音声アナウンスやナレーション、ガイダンスなどは、日本語のわからない訪日外国人や音の聴こえにくい高齢者、聴覚障がい者へその内容を伝えることが難しく、誰もが暮らしやすい社会を目指すうえで、こうした情報をいかに効果的に伝えていくのが大きな課題となっていました。

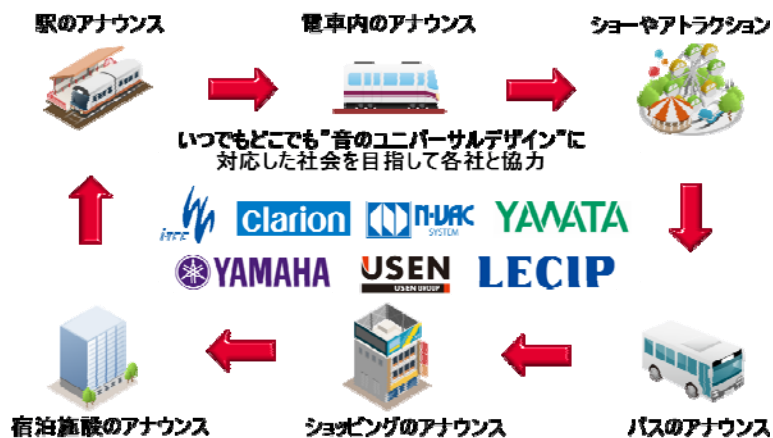
こうした課題解決においては、エンドユーザーの利便性を損なわないためにも、各業界が一体となり、取り組むことが必要不可欠です。そこで「おもてなしガイド」の様々な産業分野への波及を目指し、商業施設や店舗用音楽放送で国内最大手の USEN、鉄道車両用の車内放送装置製造で国内最大手の八幡電気産業、バス用の車内放送装置製造の国内最大手であるクラリオン、鉄道駅用放送装置製造大手のアイテック 阪急阪神と中川電気工業、ワンマン鉄道・バスのトータルシステム構築と放送装置を展開するレシップと実証実験を行うことで、将来的にシンプルかつ信頼性のある音のユニバーサルデザイン対応の音声アナウンスシステムを各業界の事業者に対して提供ができるよう検討を行います。ヤマハでは引き続き、検証パートナーを募集しています。

なお、「おもてなしガイド」は、経済産業省が日本の優れたコンテンツ技術を発掘し、評価する「Innovative Technologies 2015」に採択され、10月22日（木）～25日（日）に、日本科学未来館で開催される「デジタルコンテンツ EXPO 2015」の会場にも展示されます。

・参考リンク：<http://www.meti.go.jp/press/2015/09/20150910001/20150910001.html>

ヤマハおよび各社は、こうした実証実験を通じて、いつでも、どこでも、音のユニバーサルデザインのサービスを受けられる全ての人にやさしい社会の実現を目指していきます。

OMOTENASHI GUIDE



日本語のわからない訪日外国人や、音の聞こえづらい高齢者、聴覚障がい者が、どこでも1つのアプリだけで音声内容の翻訳・文字情報を簡単に取得できるよう、各業界がより導入しやすいシステムをアナウンス関連メーカー各社より提供。

<各社概要>

■ 商業施設や店内の音楽放送分野

- ・株式会社 USEN

本社：東京都港区北青山三丁目1番2号、代表取締役社長：田村公正

<http://www.usen.com/>

■ バスの車内放送分野

- ・クラリオン株式会社

本社：埼玉県さいたま市中央区新都心7-2、取締役社長兼COO：川本英利

<http://www.clarion.com/>

■ 鉄道の車内放送分野

- ・八幡電気産業株式会社

本社：東京都港区高輪3丁目25番23号 京急第2ビル4階、代表取締役社長：飯田充男

<http://www.yawatadenki.co.jp/>

■ 鉄道駅の放送分野

- ・アイテック阪急阪神株式会社

本社：大阪府大阪市福島区海老江1丁目1番31号、代表取締役社長：浜田真希男

<http://itec.hankyu-hanshin.co.jp/>

- ・中川電気工業株式会社

本社：大阪府大阪市東成区大今里西1-19-38、代表取締役社長：三谷浩子

<http://www.n-vac.co.jp/>

■ ワンマン鉄道・バスの放送分野

- ・レシップ株式会社

本社：岐阜県本巣市上保1260番地の2、代表取締役社長：杉本眞

<http://www.lecip.co.jp/>

<「おもてなしガイド」について>

「おもてなしガイド」は、多数の出願中特許を採用した「音のユニバーサルデザイン化」を支援するシステムです。本システムを導入すると、日本語のアナウンスなどを流すだけで、インターネット環境がないユーザーのスマホにも多言語化された情報や文字情報を提供できるようになります。

ユーザーは、「おもてなしガイド」アプリがひとつあれば、導入施設や交通機関のどこへ行っても、音のユニバーサルデザインのサービスを受けることが可能になります。翻訳情報が必要のない方には、普通の音声としてしか聞こえないため、利便性も低下しません。

ヤマハでは引き続き、「おもてなしガイド」の検証パートナーを募集しています。



※ このニュースリリースに掲載されている製品情報や問い合わせ先などは、発表日現在の情報です。発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

※ 「おもてなしガイド」「おもてなしアプリ」「音のユニバーサルデザイン」はヤマハ株式会社の登録商標です。

※ そのほかの文中の商品名、社名などは当社や各社の商標または登録商標です。

本リリースに関するお問い合わせ先

<ヤマハ株式会社>

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 広報グループ 担当：新川（あらかわ）

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-6601 FAX 03-5488-5060

ウェブサイト http://jp.yamaha.com/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です。）

■ 企業の方のお問い合わせ先

事業開発部 ニューバリュー推進室 担当：瀬戸

〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11

TEL 03-5488-5070 FAX 03-5488-6485

ウェブサイト <http://omotenashiguide.jp>